

【目次】

1. アーカイブ No.33
連載「日本労働会館物語」第 30 回
<社会民衆党の結成その 1>
2. 09/01(月) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・イオン九州ユニオン・執行委員
(専従者のみ) 17 名
3. 09/02(火)～03(水) 出張講演・UA ゼンセン福岡県支部・教育委員会主催・夜
間学習会 45 名
4. 09/06(土) 団体見学・JAM・東京計器労働組合 OB 会 13 名

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1. アーカイブ No.33

連載「日本労働会館物語」第 30 回 2011.10.17 発行の第 39 号に掲載
<社会民主党の結成その 1>

今回は社会民主党の結党について記述します。社会民主党は明治 34 (1901) 年 5 月 18 日に結成され、19 日に届出を行い、20 日に結社禁止されたと伝えられています(『社会主義の誕生—社会民主党 100 年』・「社会民主党百年」資料刊行委員会編より)。

社会民主党結成は日本で最初の社会主義政党・無産政党の結成として、日本社会主義運動史のトップに記録されています。しかし、社会民主党は結党届を出した二日後に結社禁止となっており、事実上、政党としての活動を行っていません。

その意味で社会民主党結成は現実問題として大きな意味を持たない、との意見もあります。それよりも社会民主党の前身である社会主義協会(明治 33 年 1 月 28 日結成。会長・安部磯雄)、さらにその前身である社会主義研究会(明治 31 年 10 月 10 日結成。会長・村井知至)の結成・活動こそが、日本社会主義運動史を考える上で大きな意味があるとも言われます。

さて社会民主党結成に先立ち、4回の準備会が開かれます。準備会に参加したのは安部磯雄（東京専門学校講師・37歳）、片山潜（『労働世界』主筆・42歳）、木下尚江（『毎日新聞』編集長・32歳）、幸徳秋水（『万朝報』記者・30歳）、河上清（『万朝報』記者・27歳）、西川光二郎（『東京評論』記者・25歳）の6人で、幸徳秋水を除き何れもキリスト教徒です。

第一回準備会は明治34年4月21日に開かれ、党名を社会民主党に決定するとともに、綱領について意見交換を行っています。第二回準備会は同年4月28日で、社会民主党の理想綱領8カ条と実行的綱領28カ条を決定しています。続く第三回準備会は5月5日に開かれ、党則について協議。次いで党綱領・宣言書・党則等の発表の仕方などについて確認しています。また、事務所（神田猿楽町・木下尚江宅）や結成準備金などについて確認しています。

最後の第四回準備会は同月15日、安部磯雄が起草した社会民主党宣言書の承認。党則の決定、安部磯雄・木下尚江の幹事選出を確認します。また、5月18日に社会民主党を結成し、翌19日に神田警察署へ届出を行い、同20日に社会民主党結成発表のため『労働世界』臨時号を発刊することなどを決定しました。なお、これらの準備会は東京・日本橋区の労働組合期成会事務所、あるいは鉄工組合事務所で開催された、とされています。

社会民主党結党の経緯は前掲『社会主義の誕生—社会民主党100年』に詳しく、また最近刊行された『安部磯雄の生涯—質素之生活 高遠之理想』にも分かりやすくまとめられています。

2. 09/01(月) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・イオン九州ユニオン・執行委員（専従者のみ）17名

「歴史は未来の鏡である」、「過去は変えられないけれど、未来は変える（創る）ことができる」の考え方から、友愛会を中心に同盟の日本労働の100年余を中心に藤吉館長の実体験した運動の歴史45年を語った。

その後、質問形式で労働運動の考え方や政治活動と選挙活動、反自民非共産の考え方、社会体制と経済体制、日本社会主義運動と同盟運動など深堀し、知識を深めた。

3. 09/02(火)～03(水) 出張講演・UA ゼンセン福岡県支部・教育委員会主催・夜間学習会 45名

第一講義は、常設展示「日本労働運動の100年余」を解説講演。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴

史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を聴きました。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。

第二講義は労働組合と政治活動についてです。政治活動と選挙活動の違いとその必要性、政治が出来なければ労働組合ではないとする。政治の歴史と共に、今なぜ国民民主党なのかを明確にし、今回の選挙結果について考察した。その上で、政策力をつけ法を変え、組合員自身のための政治活動と選挙活動であることを再認識しました。仕事疲れの後の夜間学習会にもかかわらず、90分の講演を聞き、その後は懇親会(田村まみ参議院議員も参加)に参加。伊本議長、西支部長をはじめ、多くの参加を戴き、有意義な長い一日を過ごしました。

4. 09/06(土) 団体見学・JAM・東京計器労働組合 OB 会 13名

常設展示「日本労働運動の100年余」のDVDを視聴。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。最後は日本労働組合発祥の地の石碑の前で記念写真を撮り、無事お開きとしました。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝2-20-12

友愛会館8F

TEL03-3453-5386

Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

-----惟一館から131年、友愛会から113年-----